学習活動	指導上の留意点・支援	準備	個別の支援・留意点　※（　）内は、主な支援者							
			A	B	C	D	E	F	G	H
1　あいさつをする。　（5分） 2　今日の学習予定を知る。 ・今日の学習活動とめあてを確認する。 ・前時の買い物のしかたを振り返り、本時の自分のめあてを確認する。	・学習の開始を意識する ・本時の学習予定を知り、見通しを持って取り組めるようにする。 ・振り返ることで既習が活かせるようにする。 ・それぞれ、本時の自分の課題やめあてを確認する。	ホワイトボード	・5円玉や50円玉の使い方を黒板を見て、自分で確認をさせる。	・緊張して取り組めない場合は、落ち着ける場所に行くように声をかける。（T2）	・落ち着いて参加できるよう予定をT4と一緒に復唱して確認をする。	・声に出して挨拶をすることで意欲を高める。 ・黒板を集中して見ているか本人の様子を見て確認し、集中してない場合は、声をかける。（T3）	・挨拶のしかたを確認することで、緊張をほぐす。 ・今まで学習したことを提示し、思い出すことで、自信を持って学習がすすめられるようにする。	・5円玉や50円玉の使い方を黒板を見て、自分で確認をさせる。	・声に出して挨拶をすることで意欲を高める。 ・緊張している場合は、学習予定を個別に声を掛けて確認する。（T1）	・5円玉や50円玉の使い方を黒板を見て、確認させる。
「みなみマート」で買いものをしよう										
3　買い物をする。　（10分） ・みなみマートに行って品物を選ぶ。 ・レジ（T1、T2）に行って、支払いをする。 ・買ったものの金額を、プリントに書く。 4　金額の書き方、出し方について話合う。（10分） ・205円など、空位のある場合の数字の書き方を全員で確認する。 ※十の位がないから、0と書きます。	・個別の課題に合わせた金種の入った財布を持って買い物をする。 ・あわてている場合は、1枚1枚硬貨を確認しながら、正しく出せるように声をかける。 ・確認のため、位取りシートを使ってもよいことを知らせる。 ・十円玉を使っても、十の位がないときは、0と書くことを押さえる。 ・テレビの画面を見て、金額の書き方を確認する。	買い物の品物 お金 コインケース 位取りシート トレー パソコン 数字カード テレビ	・6種の硬貨の入った財布を使い、支援（T3）を受けて買い物をする。 ・食物アレルギーのため食品以外の品物を用意する。 ・硬貨が出しやすいよう、トレーに並べておく。 ・位取りシートを使って金額通りの数字カードを置かせる。（T3） ・空位の数字の書き方が理解できているか個別に確認する。（T2）	・6種の硬貨の入った財布を使い買い物をする。 ・本人の興味のある品物を用意する ・わからないときは、位取りシートを使ってもよいと声をかける。（T2） ・集団で画面を見ることができない場合は、緊張をほぐすために、声をかけずに見守る。（T2）	・6種の硬貨の入った財布を使い、買い物をする。 ・位取りカードを用意しておく。 ・色々な組み合わせで硬貨を出すように声をかける。（T1） ・わからなくなったら位取りシートを使ってもよいと声をかける。（T1） ・意見が言えたら称賛する。しゃべりすぎる場合は、相手の意見もよく聞くように声をかける（T1）	・6種の硬貨のうち、1円玉が4枚の財布を使って買い物をする。 ・硬貨を取り出しやすい大き目のコインケースを用意する。 ・位取りシートを使って金額を書く。ゆっくり金額を数えるように声をかける。（T4） ・集中できない場合は、説明をよく聞くよう声をかける。（T4）	・6種の硬貨の入った財布を使って買い物をする。 ・位取りシートを使って金額を書く。 ・空位の数字の書き方の説明が理解できているか個別に声をかける。（T1）	・6種の硬貨のうち、1円玉と10円玉が4枚ずつ入った財布を使って買い物をする。 ・位取りシートを使って金額を書く。 ・数字を書き間違っている場合は、硬貨の金額を声に出して言うようにさせる。（T1） ・空位の数字の書き方が理解できているか個別に見る。（T1、T4）	・6種の硬貨のうち、1円玉が4枚入った財布を使って買い物をする。 ・位取りシートを使って金額を書く ・ゆっくり1枚ずつ硬貨を数えるようにさせる。 ・集中して画面を見るように声をかける。（T4）	・6種の硬貨を使って買い物をする。 ・筆算カードを用意する。 ・落ち着いて計算をするように声をかける。（T4） ・金額を書き間違えた場合は、数字を読んで、硬貨を使って合っているか確認するようにするよう声をかける。（T4）
5　チームで買い物の練習をする ・客と店員に分かれて買い物の練習をする。（15分）	・店員役の児童が、お客役の児童のお金の出し方を見て、正しいかどうかT1、T2の支援を受けて確かめる。児童同士で活動できるよう声掛けをし、意欲を高める。 ・買い物が早く終わったら、各自個別の課題をしている。	品物 品物カード 個別課題プリント等	・B、E、Gと組み、T2の支援を受けて買い物の練習をする。	・A、E、Gと組み、買い物の練習をする。 ・相手が出した金額を声に出して言って、確認させる。（T2）	・D、F、Hと組んで買い物の練習をする。 ・相手が出した金額を声に出して言って、確認させる。（T1）	・C、F、Hと組んで買い物の練習をする。 ・相手が出した硬貨を、指でさしながら声を出して数え、確かめさせる。（T4）	・A、B、Gと組んで、買い物の練習をする。 ・相手が出した金額を声に出して言って、確認させる。（T3）	・C、D、Hと組んで買い物の練習をする。 ・相手が出した金額を声に出して言わせる。（T1） ・やりとりができるよう台詞を用意する。	・A、B、Eと組んで買い物の練習をする。 ・相手が出した金額を位取りシートを使って数え、声に出して金額を言って、確認させる。（T3）	・C、D、Fと組んで買い物の練習をする。 ・一つずつ落ち着いて硬貨を数え、相手が出した金額を声に出して言って、確認させる。（T4）
6　今日の学習を振り返る。（5分） ・一人一人が学習したことを振り返る。 ・次時の予告をする。 7　終わりのあいさつをする。	・本時のねらいに沿ってできたところを称賛することで、学習内容の確認ができるようにする。 ・一人一人のがんばったことを認め合い、次時の意欲につなげられるようにする。 ・全員であいさつをすることにより、学習の終わりを意識できるようにする。	がんばり表	・空位の数字カードの出し方について触れ、できていたところを称賛する。（T2）	・特に硬貨の出し方になどよかったところを称賛する。（T2）	・金額を書き方や硬貨の組み合わせについてできていたところを称賛する。（T1） ・最後まで落ち着いて挨拶をさせる	・5円硬貨を使用した場面について触れ、称賛する。（T1） ・最後まで落ち着いて挨拶をさせる	・一人で品物を選んだ場目にも触れ、できたら称賛する。（T2）	・5円や50円硬貨の利用の仕方についてに触れ、称賛する。（T1） ・最後まで落ち着いて挨拶をさせる	・5円硬貨の使い方について触れ、称賛する。（T2）	・空位のある金額の出し方についてできていたところを称賛する。（T1）